学校教育目標 「旭を愛し、やさしく・かしこく・たくましく生きる児童の育成」

あさひっ子

学校だより　第　８号
令和８年　１０月２７日
鳥栖市立旭小学校
文責　校長　長野　篤志



桜島大根を育てます

今年の夏休み、西田町の大山さんから「桜島大根を育ててみませんか」と声を掛けていただきました。私も含め、誰も育てたことのないことに不安を覚えながら、「近所だから、時々見に来るよ！」という優しさに触れ、育ててみることにしました。

10月1日（木）には、大山さんに来ていただき、どのように植え、どのように育てていくか教えていただきました（右上写真）。私を含め、大根を育てた経験はあるかと思いますが、桜島大根は大きさのスケールが違います。みんなが、ワクワク、ドキドキのスタートでした。

あれから1か月ほど経ちました。佐賀の地でも、桜島大根は、しっかり根を張り、たくましく育っています！これから、間引きをして、害虫対策や水やり等のお世話をしっかりしながら育てていきたいです。フラワーロードの、防災井戸近くの4区画で育てています。学校にお寄りの際には、ぜひ観察されてください。







10.7



10.20

「村田浮立」に学ぶ

10月18日（日）、「村田浮立」に参加させていただきました。江戸時代から続く行事で、村田八幡神社の神幸祭の中心行事として、豊年感謝・無病息災を願って行われています。

今年度、少し予習をしようと思い、地域の方に話を聞いたり、鳥栖市教育委員会生涯学習課の資料を読んだりしました。すると、「村田浮立」は、村田町の獅子舞浮立と、江島町の行列浮立からなり、これが大きな特徴となっているそうです。また、現在は行われていませんが、流鏑馬（やぶさめ）も奉納されていたそうです。

昨年度、旭小学校の開校150周年式典の際、体育館に歴史ボードを掲示していました（昨年度の旭フェスタで、旭まちづくり推進センターにも展示）。その中に、昭和17年頃の「村田浮立」の写真がありました。行事の様相は時代と共に変わってきたと思いますが、今なお受け継がれていることに誇りを感じます。本校児童も多数参加していました。この子たちが、今演じていることを次の世代が受け継ぎ、次は指導者となっていくことを願っています。





1942（昭和17年）





2026（令和8年）

さて、この日、鳥栖市内で「長崎街道まつり」が行われていました。「長崎街道まつり」は、旧長崎街道の4kmを歩きながら、鳥栖市が、今も昔も交通の要所であり、文化が交流する重要な土地であったことを再認識する行事となっています。長崎街道は、江戸時代の「鎖国」があっているころ、外国との交易を制限していた中で、長崎と小倉～江戸を結ぶ幹線道路の一部が長崎街道と呼ばれており、鳥栖市内にも随所に、その跡を記す史跡があります。

これを踏まえて、上の右写真をご覧ください。村田浮立の行列が進んでいる道。ここが、長崎街道です。旭地区は、鳥栖西中学校横の道路から、BSカントリークラブの間を抜け、鳥栖市一本松交差点を進み、村田公民館の前を通る道になります。

地元の伝統行事を見学しながら、歴史を振り返ることができ、「村田浮立」に学ぶことができました。主催者、関係者の皆様、素敵な伝統行事をしっかりと伝承されてください。参加させていただき、ありがとうございました。